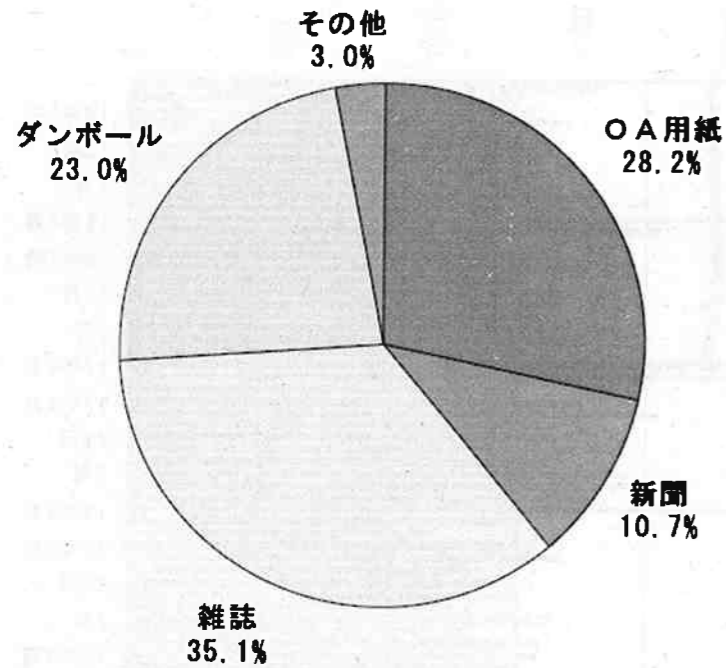
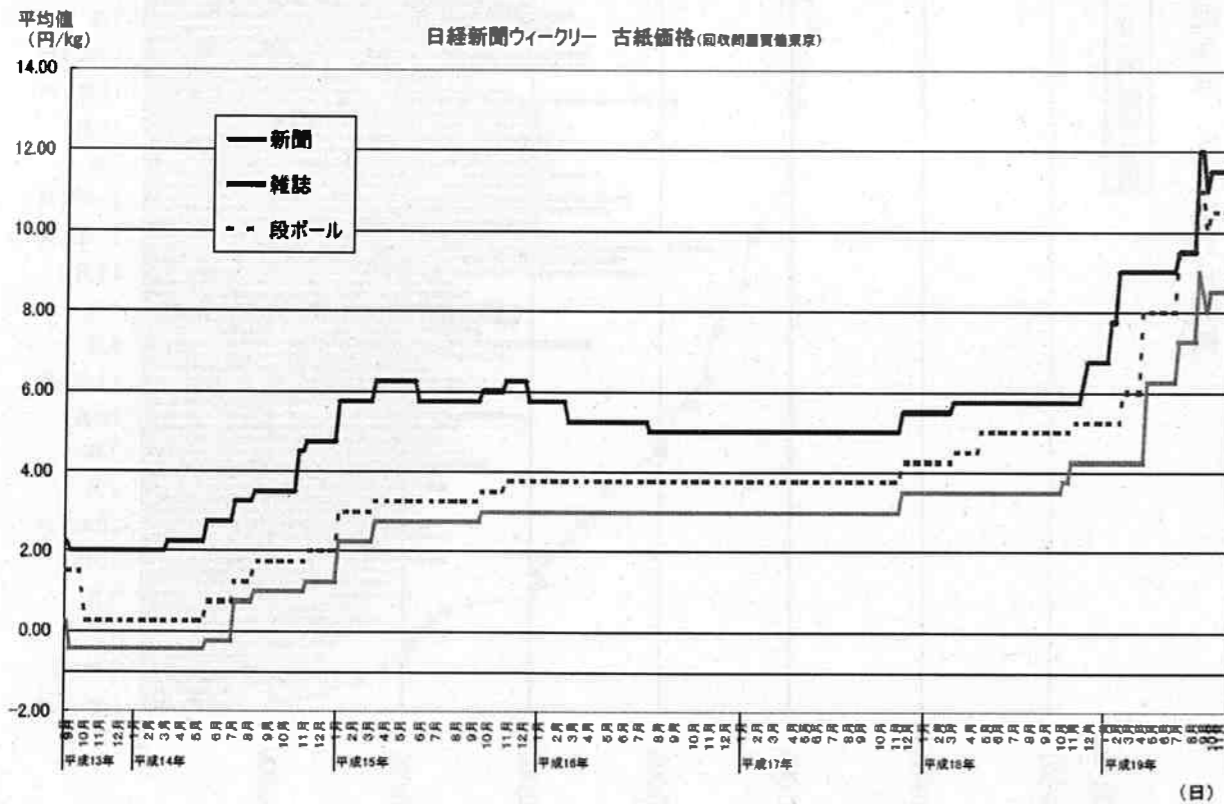


■回収古紙別割合(平成8～平成19年3月)



過去11年間の古紙回収実績から、回収古紙別の割合で最も多いのは、雑誌で約4割(35.1%)、次いでコピーや連続用紙などが約3割(28.22%)、段ボールなどの梱包材が約2割(23.0%)、新聞古紙が約1割(10.7%)の組成となっている。

■古紙価格の推移



平成18年度 東商エコリーグ 事業報告書

平成20年2月

■事業概況:

<全体傾向(平成18年4月1日～平成19年3月31日)>

参加事業者数は、平成19年3月末現在、対前年度比で17件減(全体の約1%減)1,921件となった。一昨年度(16年度)一部地区のシステム見直しを契機に大幅に減少したが、以降大きな変動はみられない。

年間回収量は約1,974トで対前年度比で約6%減ではあるが、昨年度に続く過去3番目の回収実績を上げた。参加事業所数・回収量の増減傾向は各地区各様だが、全体としてみれば回収は安定的に行われているといえる。

<地域別傾向>

参加事業所数が増加した地区は、港(1社)、新宿(5社)、中野(1社)、渋谷(5社)の4区で昨年より1区増加。減少区は、墨田(-1社)、江東(-6社)、世田谷(-7社)、北(-8社)、荒川(-7社)の5区であった。港、江東、北、渋谷では新規参加もあった。

回収量では増加区が江東、大田、世田谷、荒川、渋谷の5区、減少区は港、新宿、台東、墨田、中野、北、板橋の7区。特に板橋では昨年度、事業系古紙回収事業を民間(板橋オフィスリサイクル事業)に完全移管したため、減少傾向に歯止めがかからない。

<所感>

平成18年度に入り、古紙リサイクルを取り巻く環境は大きく変化してきている。一番大きな要因は中国の旺盛な古紙需要により、国内古紙価格が回復傾向にあることだ。日経ウィークリー古紙市況によれば、回収問屋の新聞の買値が平成13年に2円/kgだったのが、平成19年に入り10円/kg前後にまで推移している。

区の財政難などを背景として各区のリサイクル事業も一部で変化の兆しが出始めているが、今後次のような理由から小規模事業所の古紙リサイクルシステムの役割が増すと思われる。

第一に、区は集団回収団体に対して報奨金を支払うが、小規模事業所の古紙は集団回収分として受け入れないという原則がこれまで以上に徹底されるものと思われるからである。例えば中野区では平成12年度より週1回の古紙回収を行ってきたが、平成19年4月からこれを集団回収に全面移行することになった。荒川区でも早くから同様の動きもある。

第二に、23区の事業系一般廃棄物処理手数料が平成20年4月より値上げされることが決定した。従前28.5円/kgが4円上がり32.5円/kgとなる。これにより、小規模事業所の事業系古紙リサイクルシステムへの参加ニーズがますます高まることが期待されるからである。

東商エコリーグとしては東商会員へのシステムPRのみならず、支部を通じて各区との連携を一層緊密にする必要があるといえる。行政は処理手数料値上げへの対応として東商エコリーグによりいっそう期待をかけることになるだろう。来年度以降は各地区間の情報交換の促進策が必要になるものと思われる。

報告書作成: 東リ協会(社団法人東京都リサイクル事業協会)IBR団連(東京都リサイクル事業団体連合会)

〒111-0055 東京都台東区三筋 2-3-9-701 TEL:03-5833-1030 FAX:03-5833-1040

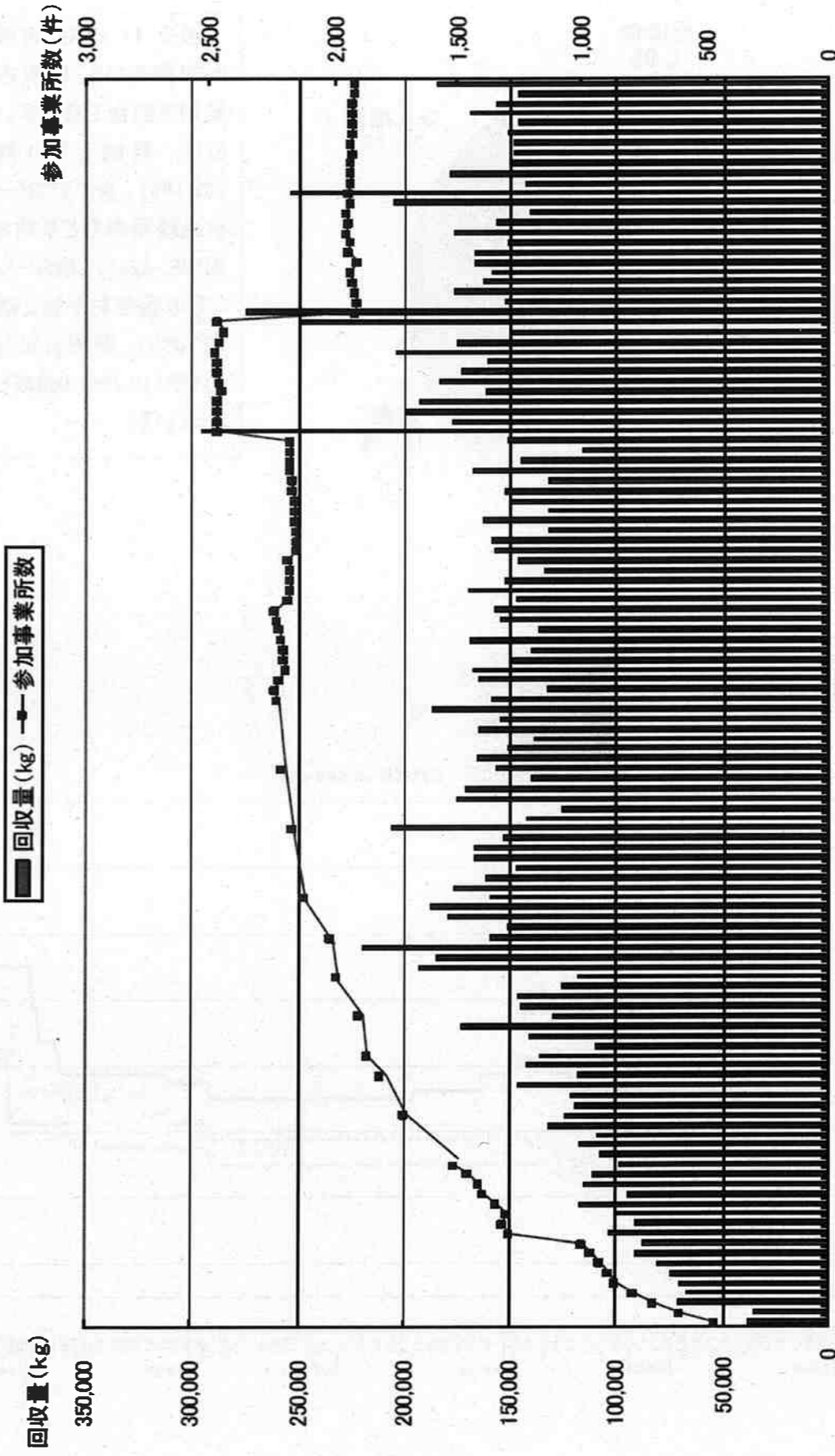
■支部分別回収実績

東商エコリナー 支部分別回収実績

支分	事業年度	事業年度												合計	備考												
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月														
東京	回収量(kg)								
	参加事業所数(件)							
神奈川	回収量(kg)							
	参加事業所数(件)						
関東	回収量(kg)						
	参加事業所数(件)					
中部	回収量(kg)					
	参加事業所数(件)				
北陸	回収量(kg)				
	参加事業所数(件)			
近畿	回収量(kg)			
	参加事業所数(件)		
中国	回収量(kg)		
	参加事業所数(件)	
四国	回収量(kg)	
	参加事業所数(件)
九州	回収量(kg)
	参加事業所数(件)
合計	回収量(kg)
合計	参加事業所数(件)

(注1) 回収量の回収品目別は地区によって異なるが、比較のため同一の区分におおむね記載している。
(注2) 参加事業所数は、支分ごとの集約された事業所数を示している。

東商エコリナー 月別回収量と参加事業所数の推移



回収量(kg) —■— 参加事業所数